

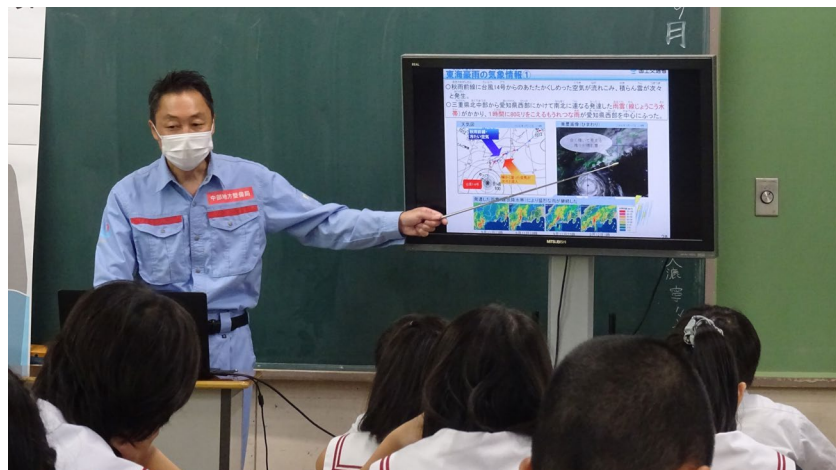
令和5年9月21日(木)に愛知教育大学付属名古屋小学校4年生を対象に、社会科の自然災害を学ぶ授業の一環として防災教育の支援を行いました。授業では、近年の大規模水害や東海豪雨の様子、水害に備えるための工事や流域治水の取組について紹介し、水災害からくらしを守る取組について理解を深めるとともに、自分たちは何ができるかについて考えるきっかけづくりをしました。



授業風景



授業に真剣に取り組む児童たち



風水害やその取組について説明する高橋総括地域防災調整官

**【対象校】愛知教育大学付属名古屋小学校
4年1組、2組、3組 87名**

授業を通じて下記のような質問がありました。

- お金をかけて工事しても被害をうけるなら、やらないほうがよくないですか。
- 工事にお金をかけるとき、どこにお金をかけますか。
- 庄内川の水位はインターネットでわかるけど、香流川の水位はどうしたらわかりますか。
- マンションのような高いところにも、避難所に逃げたほうがよいですか。
- 避難所に逃げるときは、何をもらっていけばよいですか。